

1 課題を抱える業務の内容

当庁では、水道事業の経営環境が厳しさを増す中で、業務の効率化や最適化を目的に、スマートメーターの導入を検討しております。

スマートメーターを導入することで、検針業務の効率化が図られるだけでなく、得られたビックデータを水道事業に活用することや、お客さまサービスの向上等が期待されています。

2 課題の詳細

現在国内で流通している分離型スマートメーターは、基本的に1日1回通信で8年間稼働とされていますが、検針データの送信エラーに伴う再送信や送信先の検出などにより、通信機器のバッテリーを大きく消耗します。

バッテリー消耗により、検針データが取得できない事態等のトラブルが起きないように対策を講じる必要があります、スマートメーターのバッテリー問題は大きな課題となっています。

3 こんな技術を求めています！

- 将来的な検定満了期間の見直しを見据え、1日1回通信で10年間の稼働とともに、再送信等も想定した厳しい動作環境にも耐えるバッテリー長寿命化の方法
- ワイヤレス給電などバッテリーへの給電技術